

語らいの泉

特別号

*新型コロナウイルス感染拡大防止のため、令和2年度の事業の多くが、中止になったり、延期になったりしています。夏以降の事業も、いまだ見通しが立っておりません。事業のご報告や事業のご案内を主たる目的の、当広報誌「語らいの泉」も記載する記事がほとんどありません。

そこで、今回は、「泉町」について、今更ですが、その概要を知っていただく、特別号として、編集いたしました。「そんなこと今更知ってるよ!」、という方も、「へえ~そうやったんか!」という方もよろしくお読みくださいませ。

人口 男629人 女72人 計1349人

世帯数 543世帯

高齢化率（65歳以上の方の割合）23.5% 317人

泉町の紹介（ホームページより転載）

町の紹介

我が泉町は、JR守山駅より琵琶湖側へ徒歩十数分のところ、21世紀に向け、まちの活性と福祉のまちづくりを展開。市街地の中心商店街・銀座通りを有し、守山一丁目から三丁目にわたり、三津川が町の中を縦断しております。

三津川は東門院の西側で1本の河川が分水石（昔の水争いの遺跡）で3本の川に分けられ、下流400メートルの間、並行して流れる珍しい河川で三津川と呼ばれています。

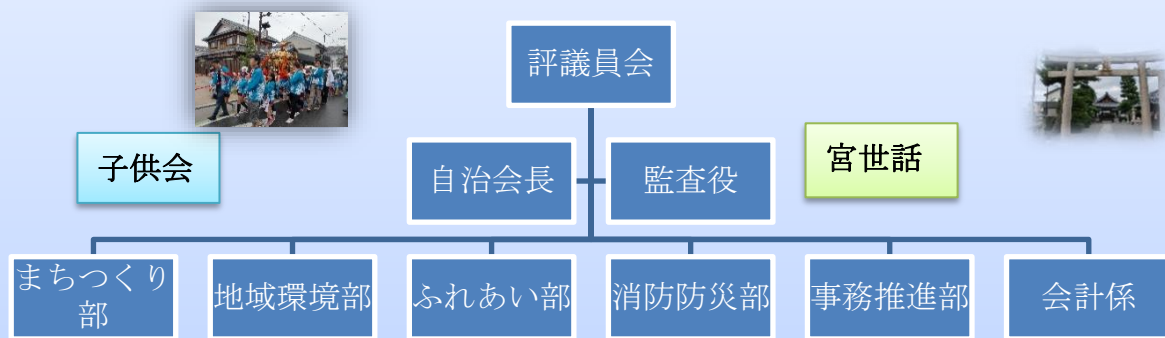
三津川の由来

守山町の東門院の西側で1本の河川が分水石で3本に分かれ、下流約400mの間3本が並行して流れる珍しい河川で、そこから三津川と呼ばれたと考えられる。野洲川の伏流水を利用した川で、古くから一帯の重要な水源であった。金森町に残る古文書には「金森村」と「三宅村」（江戸時代）との水争いの記録があり、渇水期には大変な問題となったことがわかる。その記録には、奉行の裁定があり、川幅、深さなどを決め、また『定石』と呼ばれる流れに直交する幅約20cmの石を川床に一定の間隔で設置したことが残っている。現在では水利遺跡として貴重な遺跡で全国でも珍しいものである。

守山市・守山市教育委員会



泉町の組織図



評議員会 自治会内に24ある互助組織「組」の代表とし、40名ごとに一人置かれる、評議員の合議体。泉町自治会の最高議決機関。自治会長や監査役を指名する。評議員の任期は3年。

子供会 自治会員の子供で小学校1年生から6年生までが加入する。

宮世話 元町・本町・泉町の三町が氏子となってお祭りしている天満宮の世話係。

様々な行事

ほたる祭り・毎年5月下旬ごろ

町民交流会・毎年10月中旬ごろ

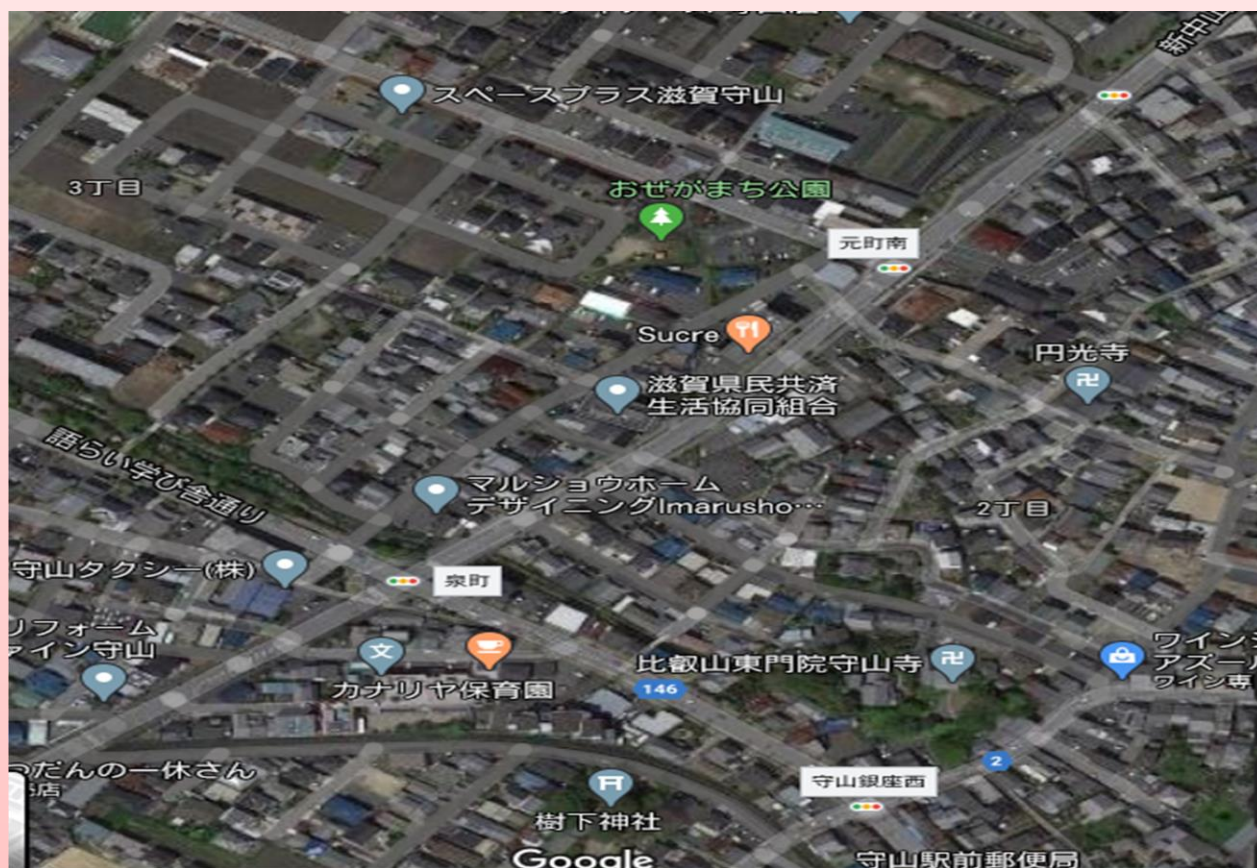


天満宮祭礼・神輿巡行毎年こどもの日

敬老会・9月中旬ごろ

左義長・1月中旬頃





泉町近辺の航空写真

「ふらっと」について

多世代交流型の高齢者の居場所づくりとして、国からの補助金を頂き、自治会館「ふるさと会館」に併設する形で、3年前にオープンしました。

いろいろな自主的なクラブ活動の拠点として利用していただいております。



三津川河川公園の四季折々

春



夏



秋



冬



過去のスクープ映像



↑くすの木に巨大サルノコシカケ



← 台風18号が直撃！
用具倉庫が川に落下

※今年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から以下の事業が中止となっております。

天満宮・神輿巡行（5月上旬）

ほたる祭り（5月下旬）

ボーリング大会（8月中旬）

敬老会（9月中旬）

町民交流会（10月中旬）

ご理解のほど、よろしくお願いいたします。



↑三津川に梅花藻が出現